

令和3年度要求 0.5億円（前年度予算額 0.6億円）

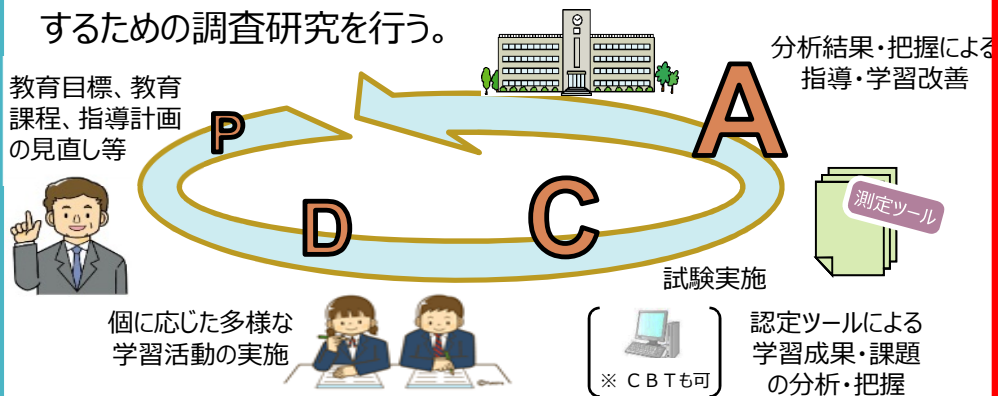
高等学校においては、生徒の基礎学力の確実な習得と学習意欲の喚起を図ること、定時制・通信制課程における多様な学習ニーズに応じた学びの実現とともに、ICTを効果的に活用した新時代の学びの充実を図ることが求められていることから、実証研究により、高等学校における教育の質の確保及び多様性への対応の充実を図る。

## 高等学校における教育の質の確保・多様性への対応のための調査研究

### ①PDCAサイクルの構築

#### ◆新学習指導要領への対応を踏まえた対象教科・科目等の在り方に関する調査研究

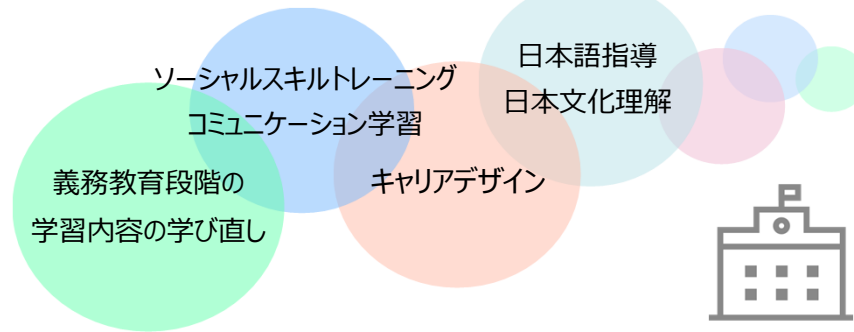
「高校生のための学びの基礎診断」の対象教科である国語・数学・英語以外の共通必修科目等の取扱いについて検討するための調査研究を行う。



### ②多様性に応じた新時代の学びの充実支援事業

定時制・通信制課程において、多様な生徒に応じて卒業後の進路を見据えたカリキュラムの研究開発を実施するとともに、多様な学習ニーズに応じながらICTを効果的に活用した指導・評価方法等の実証研究を行う。

#### ～多様な学習ニーズに応じたカリキュラム開発 × ICT活用～



対象校種	国公立の高等学校等
------	-----------

委託先	①民間企業 ②国公立の高等学校等
-----	---------------------

箇所数	①1箇所 年間900万円/箇所 1年
単価	②8箇所 年間450万円/箇所 原則3年
期間	

委託対象経費	①PDCAサイクルの調査に必要な経費 ②カリキュラム開発等に必要な経費 (人件費、設備備品費、委員旅費、謝金等)
--------	--